

T H E

i X





変化すること。

それは時に、
困難を伴うこともある。



しかし、BMW iは信じている。
その困難は必ず乗り越えることができると。

過去10年間、私たちはエレクトリック・モビリティの
先駆者として活動を続けてきた。
これからも常に第一線に立ち続け、
ポジティブな変化を生み出してゆく。
そのためにも、今、自分たちのアイデアについて、
あなたとともに考える必要がある。
私たちは、あなたと一緒に変わってゆきたいのだ。

未来を形づくる、無限の可能性を。
次の一步を踏み出すための、たくさんの素晴らしい理由を。
私たちは、信じている。

前へ進もう。望む未来を叶えよう。

さあ、ともに
変化を起こそう。



CONTENTS

BMW CHARGING

さあ、ともに変化を起こそう。 02

主要データ 06

ELECTRIC DRIVING PLEASURE

俊敏性／快適性／効率性 08

航続可能距離 12

インテリジェント・ライトウェイト・テクノロジー／エアロダイナミクス 14

NEW BMW iX M60 16



ベーシック・ソリューション 18

カスタム・ソリューション 20



電気自動車との、新しい毎日。 22

Fascinating,
different, electric:
driving pleasure
rediscovered.

Intelligent
technology
that creates
connections –
between people,
the vehicle and
the world.

CONNECTIVITY

Editorial :
テクノロジーの人間化。 24

BMWコネクテッド・ドライブ 26

ドライバー・アシスタンス 30

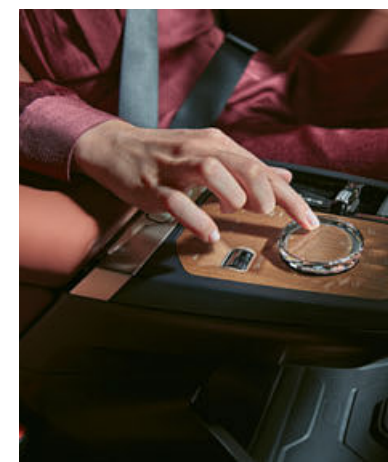
DESIGN



エクステリア・デザイン 32

ボディ・カラー 40

Editorial: 『シャイ・テク』な
エクステリアとインテリア。 42



インテリア・デザイン 44

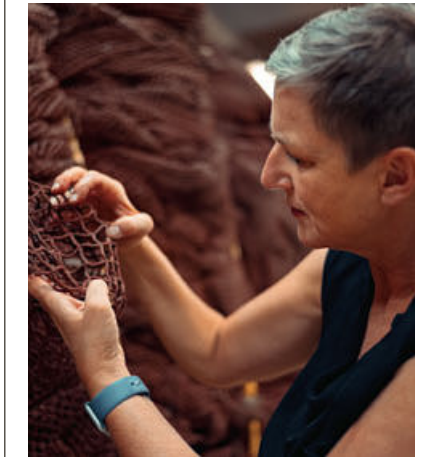
シート・マテリアル&カラー／
インテリア・トリム／
インテリア・カラー 50

Designed from
the inside to the
outside, interior and
exterior harmonise
to become a true
living space.



SUSTAINABILITY

Editorial: 始まりの時から、
終わりつと次の始まりを考える。 52



BMWのサステナビリティ:
より少ない消費で、より多くを叶える。 54

バッテリー・セルの
マテリアル・サイクル。 56



Editorial:
ディンゴルフィン・のミツバチ。 58

一充電走行距離

650 KM^{*1*2*3}
(WLTCモード)

BMW初
4輪駆動の電気自動車

「X5を超える広々とした空間。

X6のようなダイナミックなルーフ・ライン。
そしてX7に引けをとらないワイドなホイール。

ニューBMW iXは、Xモデルにおける
最高のプロポーションを備えています」

ドマゴイ・デュケッツ BMWデザイン部門 統括責任者

10分間の充電での
最大航続可能距離 120KM^{*1*4}

**LOUNGE
ATMOSPHERE**

部分的な自動運転^{*5}

0-100KM/H
加速性能 **4.6**秒未満^{*1*6}

**INTELLIGENT
SHY TECH**

20%
リサイクル・
プラスチック使用率

5G
コネクティビティ

サステイナブルな
素材を使用したインテリア

385 KW [523PS]
最高出力^{*1}

交流電力量消費率
190 WH/KM^{*1*2*3}
(WLTCモード)

国内
20,000
カ所以上の
公共充電ステーション

100%
再生可能エネルギー
により生産

*1 : xDrive50の場合。
*2 : 国土交通省審査値。一充電走行距離や交流電力量消費率は定められた試験条件での値です。
使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて数値は大きく異なります。
*3 : WLTCモード:市街地(信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定)、
郊外(信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定)、高速道路(高速道路等での走行を想定)の
各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。
*4 : ヨーロッパ仕様車値(参考値)
*5 : 詳細につきましては、30-31ページをご参照ください。
*6 : ヨーロッパ仕様車値(自社データ)

かつてない刺激と高揚。

毎秒ごとに訪れる、ピュアな走りの喜び。

ニューBMW iX xDrive50は、構造を一から見直した妥協のない設計により、まったく新たなドライビング・エクスペリエンスをあなたにもたします。また、1回の充電で最大650km (WLTCモード) *1*2もの距離を走行できるのも大いなる魅力のひとつです。

さらに、ニューBMW iX xDrive50の0-100km/h加速は4.6秒*3を記録。

優れたレスポンスと高い俊敏性を誇る、極めてスポーティなモデルです。

2つのハイ・パフォーマンスな電気モーターにより、385kW(523ps)もの最高出力を発生しながら、

交流電力量消費率は190Wh/km (WLTCモード) *1*2と非常に効率的。

これに加えてインテリジェント4輪駆動システムxDriveが、エキサイティングなドライブにおいても、思い出に残るようなロング・ドライブにおいても、常にしっかりと路面を捉える安定した走りを叶えます。

SAV(スポーツ・アクティビティ・ビークル)らしいゆとりのある室内や、高めのシート・ポジション。

ニューBMW iXは先進性に加えて、頼もしさをも感じさせてくれます。

4つの駆動輪。2つのモーター。1つの結論。

それは電気のパワーによる、
かつてない「駆けぬける喜び」。



*1: 国土交通省審査値。一充電走行距離や交流電力量消費率は定められた試験条件での値です。使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて数値は大きく異なります。
*2: WLTCモード: 市街地(信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定)、郊外(信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定)、高速道路(高速道路等での走行を想定)の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。
*3: ヨーロッパ仕様車値(自社データ)
※ 写真は一部オプションを含みます。

BMW初、4輪駆動の電気自動車。
ニューBMW iX。

パワー、トルク、効率。
そして何よりも大切なのが、繰り返し訪れる絶対的な幸福感。
最新世代のBMW eDriveテクノロジーを備えた、
BMWの電気自動車で初となる4輪駆動モデル、
ニューBMW iXとともに、新時代の駆けぬける喜びを。

このクルマは、極めて俊敏かつ快適なハンドリングと、
BMW Xモデル特有の高いシート・ポジション、
ゆとりある室内空間を備えています。
そのダイナミックな特性を、
堅牢なボディとバランスの取れた前後重量配分、
低重心の設計がさらに強調します。
大径ホイールは走行時の揺れを低減しながら、
エンドルフィン・ラッシュを
次々にもたらすがごとく俊敏性を実現します。
ニューBMW iXのエモーショナルな走りの喜びに、
限界はありません。



iX xDrive40	200 km/h 最高速度	450 km 一充電走行距離 (WLTCモード) *2*3	240kW (326ps) 最高出力
	6.1秒 0-100 km/h加速性能 *1	183 Wh/km 交流電力量消費率 (WLTCモード) *2*3	
iX xDrive50	200 km/h 最高速度	650 km 一充電走行距離 (WLTCモード) *2*3	385kW (523ps) 最高出力
	4.6秒 0-100 km/h加速性能 *1	190 Wh/km 交流電力量消費率 (WLTCモード) *2*3	

ニューBMW iXでは、
それぞれのドライビング・スタイルに合った
回生機能を設定することができます。
可能な限りペダルの操作回数を抑える
ワンペダル・フィーリングとともに、
最大限のエネルギーを回収するか(ポジションB)、
またはカスタマイズされた
減速設定を利用するか(ポジションD)を選択できます。
このアダプティブ回生機能は、
電気自動車の新たな、そしてエキサイティングな世界を
体験するためのダイレクトかつ優れた方法です。
革新的な2つの電気モーターが生み出す
強大なパワーと卓越した効率性によって、
どのような場面においても電気の走りを大いに楽しみながら、
どんな目的地へも簡単に辿り着くことができます。

ポジションB：
セレクター・レバーを「B」の位置に合わせると、
回生レベルは最大に固定されます。
クリーブ現象は発生せず、アクセル・ペダルから足を離すことで
車両は停止します。

ポジションD：
セレクター・レバーを「D」の位置に合わせると、
アダプティブ回生機能がオンになり、
設定を4段階(アダプティブ/ハイ/ミディアム/ロー)から
好みに応じて選択できます。
これによりブレーキ・ペダルを踏んで停止させるまで、
車両をゆっくりと前進させることが可能です。

*1：ヨーロッパ仕様車値(自社データ)

*2：国土交通省審査値。一充電走行距離や交流電力量消費率は定められた試験条件での値です。
使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて数値は大きく異なります。

*3：WLTCモード：市街地(信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定)、郊外(信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定)、
高速道路(高速道路等での走行を想定)の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。

※ 写真は一部オプションを含みます。

距離にかかわらず、常にクレバー。
航続可能距離と消費電力。

街中でのちょっとした移動でも、郊外へのロング・ドライブでも、
ニューBMW iX xDrive50は190Wh/km (WLTCモード)^{*1*2}という
極めて少ない消費電力でその職務を果たします。
100kWhを超える大容量バッテリーは、
650km (WLTCモード)^{*1*2}の航続距離を
ゼロ・エミッションで実現します。

このバッテリーは急速充電を用いれば、
わずか35分^{*3}で10%-80%まで充電が可能です。
この急速充電による航続可能距離は最大195kW分^{*3}となり、
長距離も安心して運転することができます。
または充電を兼ねて急速充電ステーションに立ち寄り、
わずか10分ほどコーヒーなどを飲みながら休憩するだけでも、
120km以上^{*3}もの航続距離を確保することができます。
この充電に必要なものは、すべてBMW Chargingによって
車両と一緒に提供されます。電気走行に、真の喜びを与えるもの。
それは短距離でも長距離でも完璧に対応することのできる、
フレキシブルなパフォーマンスと信頼性だとBMWは考えます。

出力と充電のパフォーマンスを最大化する。
高性能リチウムイオン・バッテリー。

ニューBMW iXに搭載された
ハイ・ボルテージ・リチウムイオン・バッテリーには、
BMWがこれまで培ってきたあらゆるノウハウが注ぎ込まれています。
性能とエネルギー密度の大幅な向上を達成した
最新世代のバッテリーは、ダイナミックな走行時や急速充電時において
特に優れたパフォーマンスを発揮します。

非常に長い寿命を誇るこのバッテリーは、
外部からの衝撃に強いアンダーフロア・セクションに格納されています。
このレイアウトと約50:50の前後重量配分によって
いつもの低重心化を実現。俊敏性を高めるとともに、
乗員や荷物のための十分なスペースを確保しています。

ニューBMW iX xDrive50

一充電走行距離:

650 km
(WLTCモード)^{*1*2}

航続距離120km分^{*3}の
充電時間:

約**10**分

公共充電ステーションで10-80%の
急速充電に要する時間:

約**35**分^{*3}



*1: 国土交通省審査値。一充電走行距離や交流電力量消費率は定められた試験条件での値です。
使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて数値は大きく異なります。
*2: WLTCモード: 市街地(信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定)、郊外(信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定)、
高速道路(高速道路等での走行を想定)の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。
*3: ヨーロッパ仕様車値(参考値)
※ リチウムイオン・バッテリーは長寿命が特徴です。
新車登録日から8年、もしくは走行距離160,000km以内にバッテリーの修理が必要になった場合は、
BMW正規ディーラーが無償で修理いたします。詳細は「BMW i ハイボルテージバッテリー 品質証明書」をご覧ください。
※ 写真は一部オプションを含みます。

モダンであり、不変である。
考え抜かれた軽量構造。

『形態は機能に従う』。

ニューBMW iXは、あらゆるディテールにおいてこの伝説的なデザイン原則に従いながら、航続可能距離と効率性、ダイナミクスを兼ね備えたユニークなドライビング・エクスペリエンスを叶えるモデルです。ウェル・ストリップと一体化したドア・ミラー、フラッシュ・ドア・ハンドル、そして軽量エアロダイナミック・アロイ・ホイールといった空力とデザインを両立したエクステリアが、視線を惹きつけ愉しませます。さらに、通常見ることのないアンダー・ボディまでもがフラットで滑らかなデザインとなっているなど、すべては最小限の空気抵抗を追い求めて設計され、Cd=0.25という驚異的な空気抵抗係数を達成しています。空気の流れを最小限の抵抗でホイールへと導く、フロント・エプロンに設けられた垂直のエア・カーテン。そしてBMW iの特徴でもあるDピラーに設けられたブラックのストリーム・フロー・セクションは、パッセンジャー・セル周辺の気流を最適化します。このような部分にも、優れたエアロダイナミクスの一端を見て取ることができます。

完全なるフレームレス・ドア、スリムな輪郭、そしてサイド・シルとテールゲートに用いられたカーボン構造のシルエットは、重量を最適化するための理想的な素材構成を示しています。アルミニウムやカーボン、高張力鋼板といったマテリアルが、軽量化や航続可能距離の延長、そしてインテリアの質感およびハンドリングの向上に寄与する部分に最適な形で採用されているのです。それはすなわち、インテリジェント・ライトウェイト・テクノロジーがもたらすこの上ない喜びを、乗るたびに体感できることを意味しています。



- ▶ 削ぎ落とされ、研ぎ澄まされたスタイリング。それはニューBMW iXに宿る本質を浮かび上がらせると同時に、エアロダイナミクスを追究し、精密にデザインされた一つひとつのディテールへと視線を導きます。

究極の電気自動車。

システム・トータル最高出力397kW(540ps)。電気自動車における最高のドライビング・プレジャーを叶える、ニューBMW iX M60。傑出した加速性能と俊敏性、精確性を備えた、BMW iの先見性を象徴するフラッグシップ・モデルは、eモビリティの時代においても、M特有のドライビング・ダイナミクスをエレガンスとともに具現化する。

エクステリアでは、強烈な個性を放つチタニウム・ブロンズのアクセント、そして最小限にまで削ぎ落とされたラインが、SAV(スポーツ・アクティビティ・ビークル)の揺るぎないアイデンティティを主張。チタニウム・ブロンズのインレイが目惹く22インチのエアロダイナミック・ホイールは、モノリシック・デザインを一段と際立たせ、その足元を引き締める。

さらに、一充電走行距離(WLTCモード)は615km^{*1*2}、わずか10分間の充電で120km^{*3}もの走行を可能にするそのゆとりは、ドライバーをより遠くへと駆り立ててやまない。インテリアにおいては、「シャイ・テク」のコンセプトに革新的で直観的なテクノロジーが美しく溶け込み、直線的なデザインはより広々とした空間を視覚的にも演出する。

高鳴る鼓動とともにアクセルを踏み込み、BMWアイコニック・サウンド・エレクトリックがMらしいエモーショナルなサウンドを奏でる時。未来へのビジョンは、今ここにあるリアルなものとして立ち現れるだろう。



途轍もないアスリート。

ニューBMW iX M60のデザインを特徴づけている、パワフルなプロポーションとミニマルなサーフェス、そして精緻を極めたディテール。標準装備のスポーツ・パッケージは、そのダイナミックな性格をより際立たせている。ルックスを極めてシャープに研ぎ澄ませる、ハイグロス・ブラック仕上げの専用サイド・シルとスポーティなフォルムのフロント・バンパー。サイド・パネルのMロゴとリヤに配された「M60」のバッジが示すハイレベルなポテンシャルは、22インチのエアロダイナミック・ホイールに施されたチタニウム・ブロンズのインレイによっても、象徴的に表されている。

純粋なる電気のパワー。完全なるMのダイナミクス。

ニューBMW iX M60においては、快適な乗り心地とスポーティなハンドリング、圧倒的なダイナミズムが相互に繋がり合うことで、BMW Mモデルならではの昂奮に満ちた体験がドライバーにもたらされる。その繋がりを確実なものとするための要が、シャシーとサスペンションのセッティングである。標準装備されているM専用の4輪アダプティブ・エア・サスペンションとインテグレイテッド・アクティブ・ステアリング(前後輪統合制御ステアリング・システム)は、ニューBMW iX M60の強大なパフォーマンスを念頭に置き体系的に設計されているため、その俊敏性と操作性を最大限にまで引き出すことができるのだ。

スタートから、最大のパワーで。

最適なトラクションが生む、最大限の加速。ニューBMW iX M60のローンチ・コントロールは、スタートの瞬間から完璧に作動し、駆動力の伝達をインテリジェントに制御する。ローンチ・コントロール作動時、0-100km/h加速は3.8秒^{*3}、システム・トータル最高出力は455kW(619ps)を記録。システム・トータル最大トルクは、実に1,100Nm(112.2kgm)に達する。ニューBMW iX M60の驚異的なパフォーマンスが、ゼロ・エミッション・モビリティに新たな次元を拓いてゆく。

*1: 国土交通省審査値。一充電走行距離は定められた試験条件での値です。使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて数値は大きく異なります。
*2: WLTCモード: 市街地(信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定)、郊外(信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定)、高速道路(高速道路等での走行を想定)の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。
*3: ヨーロッパ仕様車値(参考値)



急速充電で、より速く、より遠くへ。 そしてより多くの体験を。

BMW Chargingは、BMWを充電するための総合的かつシンプルなソリューションです。BMW Chargingの製品とサービスがあれば、自宅でも出先でも、あなたに合った幅広い充電方法を選択することができます。急速充電ステーションを含む、日本国内20,000カ所以上の公共充電ステーションを利用できます。

BMWウォールボックス・プラスの設置サービスをはじめ、充電用設備からデジタル・サービス、メンテナンス・サービスに至るまで。私たちのサービスは常に進化を続けています。

※ 充電時には、充電スタンドや充電ケーブルに近づかないでください。
 ※ 充電により動作に影響を与えるおそれがありますので、挿込み型心臓ペースメーカーおよび除細動機能なし挿込み型両心室ペースメーカー/パルスジェネレーターを装着されているお客様は、充電の操作はご自身ではなさらず他の方をお願いしてください。
 ※ 写真は一部オプションを含みます。

BMW Chargingカードさえあれば、どこでも簡単に充電が行えます。

ニューBMW iXでのロング・ドライブは、格別に楽しいものです。なにしろ、出かけた先での充電に必要なものがすべて揃っているのですから。

BMW Chargingカードがあれば、急速充電に対応したステーションを含む公共充電ステーションのネットワークへ、シームレスにアクセスすることができます。BMW Chargingは、新車購入より12カ月間は無料*で利用可能です。

* 車両登録日から6カ月以内にBMW Chargingカードを有効化しないと12カ月無料利用の権利は消失します。12カ月後は自動的に更新され、毎月の利用料が発生します。



電気自動車の利便性に、限界はありません。 BMW Chargingで広がる選択肢。

BMW Chargingで提供されるソリューションをカスタムすることにより、その利便性はさらに大きく広がります。たとえば、現在お持ちの充電設備からBMWウォールボックス・プラスにスイッチすれば、自宅における充電をさらに効率的に行うことができます。BMWではあなたに代わり、ご自宅への設置工事や接続作業を承ります。

ニューBMW iXで、究極のロー・エミッション充電とゼロ・エミッションのドライブを。BMW Chargingのほぼ無限とも言えるオプションを利用すれば、最先端のモビリティを存分に楽しむことが可能です。

自宅でも、高速かつ便利な充電を。
BMWウォールボックス・プラス。

BMWウォールボックス・プラスは安全で便利、ストレスフリーな充電を実現します。屋外でも使用できる、

このあなた専用の充電ステーションは、最大出力11kW(单相)でニューBMW iXを迅速かつ確実に充電できます。BMWらしいモダンなデザインとコンパクトなサイズに加え、プラグを含めたケーブルもすっきりと収納できる壁掛け式。

残留電流検知機能を内蔵し、サービス・アプリも用意されています。簡単に設置でき、コスト・パフォーマンスにも優れたBMWウォールボックス・プラスのサービスは、今すぐに予約できます。*

* 設置工事や接続作業等のサービスご提供までお時間をいただく場合があります。詳しくはBMW正規ディーラーまでお問い合わせください。

頼もしいネットワークが、あなたのドライブをサポートします。

出先でも**急速充電ステーション**を含む、BMW Chargingが提携する公共充電ステーションの全国ネットワークを利用できます。充電ポイントは車内のナビゲーション・システムやアプリに表示でき、適切な条件で絞り込み検索することができます。急速充電ステーションでは直流(DC)による高速充電が可能です。ニューBMW iXのバッテリーを最大出力195kWで、10-80%までをわずか35分足らずで充電することができます。*

* ヨーロッパ仕様車値(参考値)



自宅での充電をより手軽に、スマートに。
スマート・ウォールボックス。

11kWの最大出力に加え、スマート・ウォールボックスでは幅広いコネクティビティを活用した、インテリジェントでスマートな追加サービスを利用することができます。たとえばスマート・ウォールボックスを既存のホーム・エネルギー・マネジメント・システムに組み込み、オンラインで操作することも可能。正確に記録された充電の履歴は、いつでも表示することができます。

※ 充電時には、充電スタンドや充電ケーブルに近づかないでください。
※ 充電により動作に影響を与えるおそれがありますので、植込み型心臓ペースメーカーおよび除細動機能なし植込み型両心室ペースメーカーを装着されているお客様は、充電の操作はご自身ではなさらず他の方にお願ひしてください。

※ 写真は一部オプションを含みます。

THE FLOW OF A NEW TIME.



- ▶ BMWの電気自動車。
それは、どのような一日にも純粋な感動をもたらしてくれる存在です。

8:40 a.m.
リビングで飲む熱いエスプレッソが、心のスイッチをオンに切り替える。その頃ガレージでは、BMWの新しい電気自動車が準備を整えている。通常の家計用コンセントよりも速く充電できるBMWウォールボックス・プラスにより、搭載されたハイ・ボルテージ・リチウムイオン・バッテリーはすでにフル充電されているようだ。My BMWアプリ*でバッテリーの充電状況を確認して、ソファから立ち上がる。出発の準備は万端だ。

My BMWアプリで出発時刻を9:00 a.m.にセットしておけば、その時刻の少し前にはバッテリーも車内の環境も、ドライブに最適な状態へと自動的に調整されています。My BMWアプリ上でプロフィール画像を設定しておけば、クルマに近づくあなたをグレート・エントランス・モーメントが迎え入れ、BMWデジタル・キー・プラスによってドアのロックが解除されます。車内のディスプレイにはアプリに登録した名前とプロフィール画像が表示され、すべての設定はあなたの好みに合わせて調節された状態になっています。あとは、クルマをスタートさせるだけ。この上なくスマートに出発することができます。さあ、BMWインテリジェント・パーソナル・アシスタントを声で呼び出して、MY MODESから「SPORT」モードを選びましょう。

10:15 a.m.
BMWマップの表示では、目的地まであと85km。その地点はナビゲーション上に表示されるブルーの円の範囲には入っていない。現状の航続可能距離では、目的地まで十分ではないことがひと目でわかる。しかし慌てることはない。コネクテッド・チャージングが、コントロール・ディスプレイに利用可能な近隣の充電ステーションをすぐに表示してくれる。充電がてらひと休みして、ドライブを続けることにしよう。

2:30 p.m.
ミーティングの首尾は上々。午後の予定は空いていたので、あらかじめランニング・ウェアやシューズを持ってきていた。電話を入れ無事に約束を取り付けることができたので、昼食を済ませた後に、帰り道の途中にある友人宅へ。気心の知れた友人にお願いし、コンセントを拝借。充電ケーブルをクルマに繋いでおけば、気ままにランニングをしている間、BMWは必要十分な航続距離をチャージしてくれるのだ。

6:00 p.m.
音もなく、BMWは自宅のガレージへと滑り込む。明日も遠出の予定がある。バッテリー残量はまだ十分にあるが、BMWウォールボックス・プラスに繋いでおけば万全だ。幅広い充電機能や履歴の確認をできるうえ、充電自体は電気料金や出発時刻に応じて、最も経済的と判断された時間帯に自動的に行われるのだ。なんて賢いのだろう。そう、ひとつ確かなことがある。電気自動車であっても、BMWはあくまでBMWなのである。今も、そしてこれからも。エネルギーな駆けぬける喜びを毎日にもたらしてくれる、かけがえのない存在であり続けるのだ。

* 本サービスは、BMWが契約する事業者が提供するモバイル・ネットワークの電波の届かない場所ではご利用いただけない場合があります。
※ 写真は一部オプションを含みます。

Intelligent Personal Assistant design

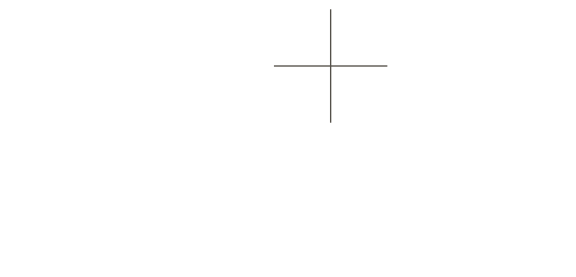
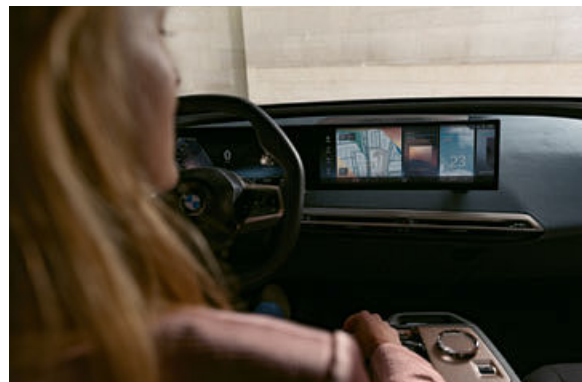
テクノロジーの人間化

ニューBMW iXにおいて初めて、BMWインテリジェント・パーソナル・アシスタントは視覚的な“姿”を持ちました。このビジュアル・デザインについてBMWの開発チームが解説するとともに、米国連邦捜査局 (FBI) に25年間勤務したボディ・ランゲージのスペシャリスト、ジョー・ナヴァロ氏が、人工的なキャラクターを視覚化する際にどのような知見が必要であるのかを専門的な見地から解説します。

新世代のBMWインテリジェント・パーソナル・アシスタントは、人の視界に効果的に、しかし邪魔にならないように表示されます。画面上に現れるほの明るく白い数個の球体は、ドライバーの声により起動し、感情を伝えます。このミニマルなデザインは、BMWデザイン部門において数年にわたり検討され、候補に上がった数千の案のなかから選ばれました。

「今回のプロジェクトで重要だったのは、インテリジェント・パーソナル・アシスタントをテクノロジーやデザインといった観点からではなく、実際の人間とその非言語的コミュニケーションの観点からアプローチすべきだ、と気づいたことでした」と、BMWのエクスペリエンス・デザイン部門のトップであり、インテリジェント・パーソナル・アシスタント開発チームのメンバーでもあるジェシカ・コヴィは語ります。「そのことに気づいた瞬間から、私たちのチームは3次元的な動きのあるデザインの開発に取り組み始めました」。インテリジェント・パーソナル・アシスタントのキャラクターは、ベネディクト・カンバーバッチが演じたシャーロック・ホームズや、『ジェームズ・ボンド』シリーズ最新作でベン・ウィショーが演じた、“常に聡明で毅然としているが、笑顔を絶やさない”キャラクターであるQからインスピレーションを得ています。

BMW社内における初期の実験では、何人かの被験者を3Dビデオ・カメラで撮影し、質問に対してボディ・ランゲージで答えてもらいました。「実際の人間によるボディ・ランゲージを模倣して、内向きの動きをするアニメーションの白いボックスがありました。



このボックスは、インテリジェント・パーソナル・アシスタントのインスピレーションの源流のひとつとなりました」と、ジェシカ・コヴィは振り返ります。

このような行動のミラーリングにおける効果は微妙なものでした。FBIの捜査官および管理官を25年間勤めた、ボディ・ランゲージの専門家であるジョー・ナヴァロは、これについて説得力のある説明をしています。「幸福な状態を示す人間の行動パターンはいくつもありますが、脳は気分が良いか悪いかの二元論です。一見乱暴ですが、人類はこのようにして進化してきました。そうでなければ物事が複雑になりすぎて、子どもを育て上げることなどとてもできなかったでしょう。人は幸福を感じると、物腰は柔らかくなり、顔の表情はリラックスする傾向にあります。笑顔が増え、話している相手の方をしっかりと向き、手のひらで相手に触れることが多くなります。このような行動パターンをより多く見たいのであれば、母親と赤ん坊、あるいは恋人同士のやり取りを観察すれば良いのです。幸福感を示す数多くのしぐさとミラーリングが見られることでしょう。最も顕著な証左は、互いの表情が非常にリラックスしていることです」。

BMWのデザイン・チームは、このような人間の行動体系をさらに深く研究しました。ジェシカ・コヴィは「私たちはテクノロジーの人間化という、エクスペリエンス・デザインの新時代を切り拓こうとしているのです」と述べます。「テクノロジーは、そこに驚きがあればあるほど、いっそうの進化を遂げます。それが、現在私たちが取り組んでいるようなことなのです」。

一方、BMWのユーザー・エクスペリエンス・デザイナーたちは、カスタマー・ジャーニーのあらゆる側面を分析し、何がいつ、どのように求められているのかを探りました。BMWのドライバーと乗員は、常に幸せを感じられるようであればなりません。そこには、BMWインテリジェント・パーソナル・アシスタントとの直感的で自然なやり取りも含まれます。



「すべてをゼロから学習するのではなく、すでにある行動パターンがベースとなります」とジェシカ・コヴィが説明します。それを受け、BMWブランドと20年以上の付き合いがあるジョー・ナヴァロは「そのうえに、私たちはシンプルな構造を持ち、そして自然に“もっと知りたい”と思わせるようなプロセスを持つシステムを作り上げているのです」と述べました。彼は今年の始め、ホワイト・カラーのBMW 5シリーズを手に入れたばかりです。

彼は専門家として、バーチャル・キャラクターを視覚化する方法を熟知しており、ピクサーなどの大手フィルム・スタジオを相手にキャラクター・アニメーションに関するコンサルティングを提供しています。彼は「人間の経験に近づけば近づくほど、良いものができるのです」と言います。彼が挙げた具体的な例を見れば、アニメーションの難しさがよくわかります。「人は何かを強調したい時には眉毛を上げますが、これは重力に逆らうしぐさです。AIではこのような細かな事象を捉えられないことが多く、

人と人との間に発生する評価システムも見逃されがちです。たとえば誰かと一緒にいて愉しんでいる時、人はごくわずかにリラックスした表情をするとともに、瞳孔が大きくなったり小さくなったりします。人工的なキャラクターを視覚化する時、たとえわずかであってもこのような人間の動作を取り入れることで、その動きは説得力のあるものとなってゆくのです。AIは、人間の動きというのは現実には大きくなく、ほんの数度のわずかなものであるということを認識していないため、時としてやり過ぎてしまいます」。人間は完璧を追求するのではなく、心理的な幸福感を追い求めているのだ、ということを理解していれば、何かにつけて人間の興味を惹きつけることは容易になる、ということです。BMWインテリジェント・パーソナル・アシスタントの視覚化にあたって実際に採用されたのは別の手法でしたが、BMWデザイン・チームは、ビジュアル・デザインを検討する際にこの点も考慮して開発を進めました。また、カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) 教授であった心理学者のアルバート・メラビアンが行った、エモーショナル・コミュニケーションにおける言語的メッセージと非言語的メッセージの意味についての興味深い研究の成果も、デザイナーたちにとって重要なインスピレーションの源となっています。直接的にはリンクせずとも、それぞれの分野の専門家からの示唆に富むさまざまな考察を取り入れることは、物事に対する洞察をより深めていくことに繋がるのです。



イノベーションがもたらす、かつてない高揚。

快適さはそのままに、未知なる世界を探索する。デジタル・デザインをユニークな形で組み合わせたニューBMW iXは、これまでで最もエモーショナルでパーソナライズされた、快適なドライビング・エクスペリエンスを提供する電気自動車です。最先端のテクノロジーが、乗員のニーズに完璧にマッチした体験を叶えます。

どんなシーンもより安全に、より愉しくするデジタル・インテリジェンスと、ドライバーの要求に応える個性的で直観的なデザイン。ニューBMW iXとともに、そしてニューBMW iXのなかで、あなたにとっての特別な体験を発見してください。

次世代のBMW iDriveは、あなたとニューBMW iXの関係を次なるレベルへと引き上げます。クルマに触れずとも、既に近づいた時から、新しいシステムによるグレート・エントランス・モーメントがアナログとデジタルの壁を取り除いてゆきます。**BMWオペレーティング・システム8**は、あなたとニューBMW iXの間にパーソナルな対話を積極的に開き、より豊かなドライビング・エクスペリエンスを提供します。

ドライバーとクルマの繋がりは、これまでになくダイレクトで直観的なものとなるでしょう。ニューBMW iXの操作コンセプトは、あらゆる機能と情報をできる限り簡単かつ便利に提供するというホリスティックな哲学に基づいています。タッチ操作やジェスチャー・コントロールに加えて、わかりやすい言葉による操作が最優先されます。物理的なボタンは必要なものだけに絞られ、独立したセンター・コンソール内の革新的なコントロール・センターに集約して配置されています。BMWオペレーティング・システム8では、コントロール・ディスプレイのすべてのフィールドにおいてお気に入りのコンテンツを個別に設定し、すぐに表示できるようにすることができます。これにより、個々のニーズに合わせてカスタマイズされたまったく新しい体験を車内に生み出します。



Technology becomes useful when it makes our everyday life more pleasant, more convenient and better – or, best of all, everything at once.

BMWオペレーティング・システム8がニューBMW iXの心臓部であるとするならば、**BMWインテリジェント・パーソナル・アシスタント** (AI音声会話システム) は、ニューBMW iXに宿る魂です。呼び出した時にはいつでも「OK、BMW」、またはご自身で設定した呼びかけの言葉でアシスタントを呼び出せます。いちいちボタンを押す必要はありません。アシスタントは室内の空調を調節したり、希望にあったBGMを選択したりと、頼れる専門家としてさまざまな情報を提供してくれます。BMWインテリジェント・パーソナル・アシスタントは、繰り返し行う作業の自動化や使ったことのない機能の説明などを積極的にサポートしてくれます。さらに**Amazon Alexa**^{*1*2*3}を統合することで、お気に入りの機能をクルマから直接利用することができます。このようにして、ニューBMW iXとの対話はあなたが望むような特別な体験となるのです。



すばらしい体験のための準備は整っています。**BMWライブ・コックピット**には、あなたとニューBMW iXとの直観的で自然な対話という、まったく新しいユーザー・エクスペリエンスに必要なものがすべて揃っています。12.3インチのメーター・パネルと14.9インチのインフォメーション・ディスプレイの見事なコンビネーションは、広大なインストルメント・パネルの上ほぼ完全に浮かんでいるかのように見えます。すべての機能と情報を必要な時に必要な方法で入手できるため、あなたとニューBMW iXの出会いを毎回より楽しく、より人間らしく、そしてより忘れがたいものとしします。

iOSおよびeSIM & 5Gに対応したスマート・アクセス付ウェルカム・シナリオ

パーソナルeSIMは車内で5Gネットワークを利用するための技術的基盤となるもので、対応する事業者のモバイル・ネットワークにおいてもご利用いただけます。^{*} また、パーソナルeSIMを利用した通話においては、車載アンテナのおかげでその品質が向上します。さらにパーソナル・ホットスポットを搭載すれば、車載アンテナのより良い通信環境下において、モバイル・データ容量を利用した高速インターネット接続が走行中でも可能になります。

^{*} 現在、パーソナルeSIMのサービスは株式会社NTTドコモの「ワンナンバーサービス」対象料金プランをご契約のお客様のみが対象となります。また、パーソナルeSIMのご利用には別途「ワンナンバーサービス」のお申込およびアカウント連携が必要となります。詳細はBMW正規ディーラーにお問い合わせください。
^{**} ワンナンバーサービスは、NTTドコモの商標です。
^{**} iOS は米国およびその他の国におけるCisco社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

^{*1}： 導入時期につきましては、BMW正規ディーラーにお問い合わせください。
^{*2}： 新車購入により、36カ月間は無料で利用可能です。36カ月後は更新の必要があります。また、毎月の利用料が発生します。Amazon Alexa導入前に購入された車両については、無料でご利用いただける期間が短くなる場合がございます。あらかじめご了承ください。
^{*3}： Amazon, AlexaおよびそれらのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。BMWに搭載されるAlexaとご自宅用のAlexa対応デバイスでは、一部機能が異なる場合があります。Amazon AlexaをBMWで利用するためには、音声認識およびコントロール機能が備わったBMWオペレーティング・システム7.0以降が搭載されていることが必要となります。Amazon AlexaをBMWにインストールするためには、My BMWアプリ、AmazonアカウントおよびBMWコネクテッド・ドライブのアカウントとの連携が必要となります。BMWに搭載されたAmazon Alexaの機能を最新に保つためには、Amazon AlexaアプリのソフトウェアとスマートフォンのiOSまたはAndroidのソフトウェアが常に最新版である必要があります。Amazon AlexaはBMWライブ・コックピット搭載車 (BMWオペレーティング・システム7.0 Version 03/2021以上) でのみご利用いただけます。Version 03/2021以下の場合、BMW正規ディーラーとご相談ください。
^{**} 以上の内容は、予告なく変更、終了する場合がございます。
^{**} 写真は一部オプションを含みます。



すべてを安全に、確実にコントロール。

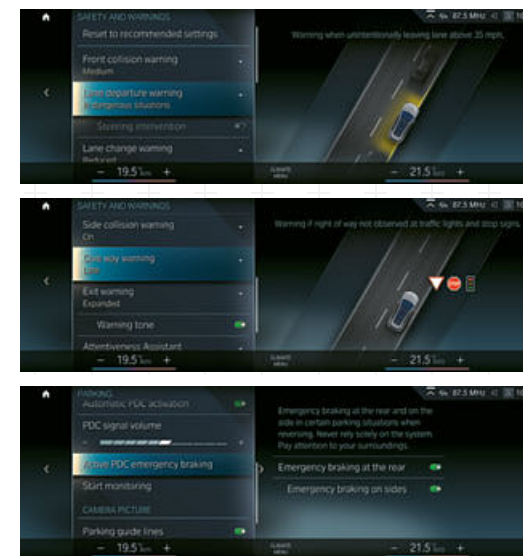
あなたの要求を最適化するテクノロジー。ニューBMW iXは常にあなたの運転に寄り添いながら、幅広い運転支援テクノロジーによって、困難な状況下においても信頼性の高いサポートを提供します。セーフティの面ではレーン・ディパーチャー・ウォーニング（車線逸脱警告システム、車線復帰機能付）や衝突回避・被害軽減ブレーキ（事故回避アシスト付）が含まれます。

さらにサラウンド・ビュー・システムやリバーズ・アシスト／後退時ステアリング・アシスト機能*1、縦列駐車や並列駐車、直角駐車に対応したパーキング・アシストを含むパーキング・アシスト・プラスが標準装備となっています。どんな場所でもまるで自宅にいるように快適なドライブを実現し、どのような状況でも安心して運転できる環境を提供します。

- *1： ご使用の前には、取扱説明書にて各機能の原理や操作方法を必ずご確認ください。運転者にはいかなる場合でも安全運転を行う義務があります。本機能は、運転者が責任を持って安全運転を行うことを前提とした「運転支援技術」であり、運転者に代わって車が自律的に安全運転を行う、完全な自動運転ではありません。システムの認識性能には限界があるため、路面状況や気象条件等によってはシステムが作動しない場合や、不適正にまたは理由なく作動する可能性があります。そのため、安全確認や運転操作をシステムに委ねる運転は、重大な事故につながる危険があります。常にご自身の責任で交通状況に注意し安全運転を心がけてください。機能についての詳細はwww.bmw.co.jp、またはBMW正規ディーラーにてご確認ください。
- *2： レーン・ディパーチャー・ウォーニングは70km/h以上、前車接近警告および衝突回避・被害軽減ブレーキは5-85km/h、歩行者検知機能は5-65km/hでの走行時に作動します。
- *3： 完全な自動運転はできません。ドライバーは進行方向および周囲へ絶えず注意を払うとともに、緊急時などシステムが要求した場合、直ちにハンドルを確実に操作することが可能な状態を保つ必要があります。

パーキング・アシスト・プラスがあれば、ニューBMW iXでの駐車はより快適なものとなります。パーキング・アシストの機能に加えて、ラジエーター・グリルやドア・ミラー、テールゲートに組み込まれたカメラが、クルマの取り回しと駐車作業をより簡単なものにします。ドライブの最中には、たとえば車両に内蔵されたカメラで車両周囲の映像を撮影／記録できるBMWドライブ・レコーダーで美しい風景を記録し、スマートフォン*4からリモート3Dビューを通してその映像にアクセスすることもできます。また、盗難防止装置が作動するとアラームが鳴るとともに特別な安全機能が起動。車両周辺の画像を自動的に撮影し、その画像をすぐにMy BMWアプリ*5へ送信します。

ドライビング・アシスト・プロフェッショナルは、単調な交通状況あるいは危険度が高い局面での走行において、優れた快適性と最大限の安全性を実現します。ドライビング・アシストのほか、運転をより安全で楽しいものとするための各種の運転支援テクノロジーが含まれます。衝突回避・被害軽減ブレーキ（事故回避アシスト付）と連動する高速道路渋滞時ハンズ・オフ・アシスト*2は高速道路*6を走行中、一定の条件下であればアシスト・システムを起動させることにより、ドライバーがステアリングから手を離しても、クルマがステアリングを自動的に操作しながら運転を継続します。ACC／アクティブ・クルーズ・コントロール（ストップ&ゴー機能付）*3は、ドライバーが任意に設定した速度をベースに、先行車との車間距離を維持しながら自動で加減速を行い走行します。ステアリング&レーン・コントロール・アシスト*3は、長距離のドライブの際にアクセル、ブレーキ、ステアリングの操作をサポートし、運転にリラックスをもたらします。レーン・チェンジ・アシスト*2は一定条件下においてウインカー・レバーをワンタッチするだけで、車両が周囲の安全を確認し、自動的に車線変更を行います。フロントのクロス・トラフィック・ウォーニングは、車両の前方からドライバーの死角に接近してくるクルマや歩行者をセンサーが検知し、ドライバーに警告。ニューBMW iXのブレーキングをサポートします。さらにアシスト・ビューが、運転支援テクノロジーの機能それぞれの操作方法や通知をメーター・パネルに3Dで表示。よりわかりやすく、ドライバーに情報を伝えます。



- *2： 完全な自動運転はできません。システムは状況が作動条件を満たさなくなった場合、安全のため直ちに作動を中断します。また、ドライバーは進行方向および周囲へ絶えず注意を払うとともに、緊急時などシステムが要求した場合、直ちにハンドルを確実に操作することが可能な状態を保つ必要があります。
- *3： 完全な自動運転はできません。少なくともいずれかの手をステアリング・ホイールのリムに添えている状態で作動するもので、完全に手がステアリング・ホイールから外れると警告音が鳴り、一定時間後にアシスト機能を停止します。
- *4： 一部機種やOSによっては、ご利用いただけない場合があります。
- *5： 本サービスは、BMWが契約する事業者が提供するモバイル・ネットワークの電波が届かない場所ではご利用いただけない場合があります。
- *6： 高速自動車国道法に定める「高速自動車国道」および「指定都市高速道路」に分類される道路。

ニューBMW iXのエクステリア・デザイン。

ひと筆、ひと言、ひとしぐさ…。
優れたアイデアは込み入った複雑さを排除し、
本当に大切なものを輝かせることができます。
ニューBMW iXに設定された
スポーツ・パッケージは、
まさにこの画期的なアプローチを体現しています。

モノリシックなプロポーションを特徴とする
エクステリア・デザインは、すぐに注目の的となります。
すべてのディテールは、わずか数本のラインにより描かれた
この彫刻のようなボディに違和感なく溶け込みます。
その結果、忘れがたいデザインという複雑な問いに対する
シンプルな答えを与える、唯一無二の美学が生まれました。



「新たなテクノロジーに対して、いかにしてモダンで
エモーショナルなデザインを与えることができるか。

ニューBMW iXは、その答えを示しています」

アドリアン・ファン・ホーイドンク
BMW Group Design 統括本部長

ニューBMW iXのフロント・デザイン。

新たなるムーブメントの顔として、ニューBMW iXから感じられるエネルギーは、その駆動力だけではなく、デザインをとっていても、モビリティをより簡単かつ快適なものにするというニーズが集約されています。個性的なフロント・セクションは、これまでのクルマにはない力強い存在感とダイナミクスを生み出します。

彫刻的なモノリシック・デザイン。その原則は、強烈な個性を放つフロント部分に良く表現されています。その中央には、革新的なドライビングを予感させるクローズド・タイプのキドニー・グリルが、垂直に切り立った形でエア・インテークの上に据えられています。極めて立体的な造形を持ったボンネットがキドニー・グリルと

接続するように伸び、その両脇に配されたのはひとときスリムなヘッドライト。未だかつて見たことのない方法により、豊かな感性とパワフルな存在感を融合したフロント・ビューが描き出されています。

フロント・デザインはスポーツ・パッケージ*によって、よりいっそうモダンで魅力的なものとなります。両サイドに配された三角形のクローズド・エレメントはワイドなボディを強調し、ニューBMW iXの自信に満ちた佇まいを示します。そしてキドニー・グリル下部の台形のエア・インテークが、全体をスポーティな印象で引き締めています。



彫刻のようなボンネット。

巨大な一枚岩を切り出したような形状のボンネットは、キドニー・グリルの上部をシームレスに包み込みながらキドニーの周囲をタービンのように一体になりながら下りてゆくラインを生み出しています。さらにスリムなヘッドライトも相まって、その表情にかつてないパワーとダイナミズムをもたらします。

モダンなデザインのヘッドライト。

BMWの量産モデルのなかで過去最もスリムなヘッドライトは、ニューBMW iXに備わったデジタル・インテリジェンスを象徴しています。2次元のグラフィック・デザインが採用されたデイトタイム・ランニング・ライトは、このモデルのモノリシックなデザイン・コンセプトをさらに際立たせています。



ニューBMW iXのサイド・デザイン。

自信に満ちた新たなアイコン。明確に定義づけられたプロポーションの中で、厳密なるモデリングにより生み出されたサイド・サーフェスが力強さにあふれたボディを形作ります。熟考の末に削ぎ落とされたキャラクター・ラインと完全に一体化されたドア・ハンドルが、ニューBMW iXのデザイン・コンセプトを最大限に引き出しています。限りなく少なく、限りなく効果的に。その美学はここに体现されました。

リヤに向けて絞り込まれたボディが生む、エレガントでダイナミックなシルエット。一方でホイール・アーチは、自身のルーツと誇りを思わせるグラフィック・エレメントとして、初代のBMW Xモデルを彷彿とさせる印象的な長方形の輪郭に縁取られています。前後のホイール・アーチの間に走るアクセント・ストリップは、そのデザイン性とともにアンダーフロア・セクションに組み込まれた革新的なバッテリー・テクノロジーを示唆しています。

スポーツ・パッケージ*はニューBMW iXの精悍さを引き立て、いっそうエキサイティングなものとなります。特にサイド・ビューにおいては、ハイグロス・ブラック仕上げのサイド・スカートと21インチまたは22インチの専用ホイールがその印象を刺激的に変化させ、さらにダイナミックなものとなります。

フレームレス・ウインドーを備えたドア。ニューBMW iXは、BMW Xモデルとして初めてドアに完全フレームレス・ウインドーを採用しました。これにより、AピラーからDピラーへと至るサイド・グラフィックはフラットなものとなり、要素が削ぎ落とされた新たなデザインを極めて効果的に引き立てています。そしてそのドアは、あなたがニューBMW iXへ乗り込む瞬間の感覚を、想像以上に素晴らしいものにしてくれるはずです。

一体化されたドア・ミラー。BMWのモデルとして初めて、ドア・ミラーがウェル・ストリップに一体化されました。ストリップから流れ出たミラー・ベースがドア・ミラー本体を下から支え、縁取るようなデザインとなっています。

フラットな電動ドア・ハンドル。フレームレス・ドアと完全に一体化した新しい電動ドア・ハンドルは、そのフラットなスタイルにより、モダンなエレガンスを漂わせるサイド・ビューを生み出します。ハンドル・レバー周囲のアクセント・ストリップは、上質でエクスクルーシブな印象をもたらします。

* モデルにより装備の設定が異なります。
※ 写真は一部オプションを含みます。



「少ないながら明快なラインを持つ
モノリシック・デザインは極めて個性的であり、
このクルマに非常にパワフルなルックスを与えています。
ニューBMW iXはその印象に違わず堅牢でクリーン、
そしてエレガントなのです」

ドマゴイ・デュケッツ
BMWデザイン部門 統括責任者

視線を惹きつける、
チタニウム・ブロンズ仕上げのエLEMENT。

エクステリアに魅力的な輝きを与える
BMW Individual チタニウム・ブロンズ・
エクステリア・ライン。

リヤ・ディフューザーに配されたブラケット型の
ELEMENTは、ワイドな車幅を強調するとともに
このモデルが誇る高い品質を周囲に示します。
スポーツ・パッケージ*と組み合わせた場合、
リヤ・ディフューザーのインサートは
ハイグロス・ブラック仕上げとなり、
より洗練された雰囲気を漂わせます。

スリムなテールライト。

特徴的なテールライトはスリムな一体成形で、
極めてモダンでクリアなルックスを
実現しています。リヤの両サイドまで長く伸びた
そのフォルムは、視覚的にもニューBMW iXの
存在感を大いに高めています。
現代的に解釈されたL字型のデザインと
明確な輪郭を持ったサーフェス・ワークにより、
他のいかなるモデルとも見紛うことは
ありません。特に夜間においては
そのグラフィック・ライティングにより、
見るものに魅力的な
ビジュアル・エクスペリエンスを授けます。



ニューBMW iXのリヤ・デザイン。

印象的でダイナミックなリヤ・エンドは、
ニューBMW iXにふさわしい仕上がりとなっています。
細かなディテールではなく、
緻密なモデリングにより生み出された無二のサーフェス・ワークが、
豊かな表現力をもってその上質を物語ります。

ニューBMW iXの堂々としたスタンスを際立たせる、
フレア状に広がったショルダー・ライン。
その効果は、BMW史上最もスリムなテールライトによって
さらに強調されています。
リヤ・セクションの幅いっぱいに広がるテールゲートは
モノリシック・デザインの原則に基づき、その佇まいを
より魅力的なものとしています。

リヤ・エプロンでは、ニューBMW iXの
革新的なドライブ・コンセプトを象徴するモダンなELEMENTが
視覚的なコントラストを形成し、
このモデルに忘れがたい外観を与えています。

ニューBMW iXのデザイン。そのDNAには、
道を駆ける純粋な喜びが深く刻まれています。
たとえばスポーツ・パッケージ*に含まれるバンパーは、
独立した魅力的な形状を成しています。
ディフューザー・ELEMENTはボディ・カラーと同色仕上げとなり、
リヤのスポーティでワイドな印象をより強調しています。

* モデルにより装備の設定が異なります。
※ 写真は一部オプションを含みます。

感情を動かす色彩。

ニューBMW iXには、エクステリア・トリムにチタニウム・ブロンズのアクセントを備えた9つの魅力的なカラーが用意されています。クラシックでエレガントなものから、ダイナミックでスポーティなものまで。それぞれのカラーのニュアンスはニューBMW iXの異なる側面を引き出します。きっとあなたは、出会うごとに新たな魅力を感じることでしょう。

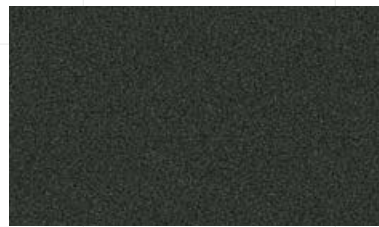
ボディ・カラー



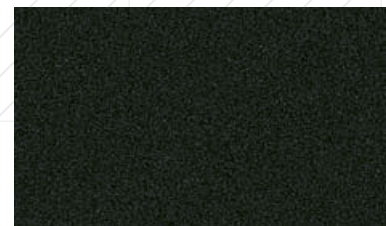
ソリッド・カラー
300 アルピン・ホワイト



メタリック・カラー
A96 ミネラル・ホワイト



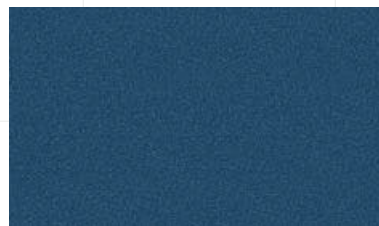
メタリック・カラー
A90 ソフィスト・グレイ
ブリリアント・エフェクト



メタリック・カラー
475 ブラック・サファイア

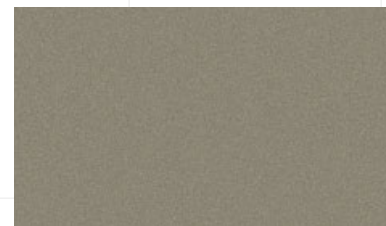


メタリック・カラー
C35 ブルー・リッジ・マウンテン

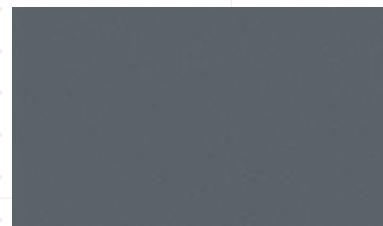


メタリック・カラー
C1M ファイトニック・ブルー

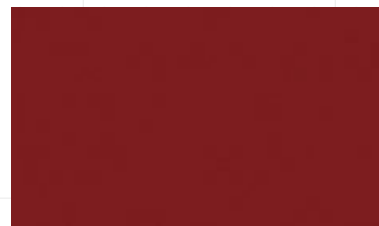
BMW INDIVIDUAL ボディ・カラー



メタリック・カラー
C4A オキサイド・グレイ



メタリック・カラー
C3N ストーム・ベイ



メタリック・カラー
C57 アベンチュリン・レッド

[Color samples] ここではニューBMW iXでお選びいただける、多彩なカラーと素材のバリエーションをご紹介します。お好きな色を選択したり、豊富な素材との組み合わせを愉しみながら、あなたの個性にぴったりの一台をコーディネートしてください。ただし、これらのサンプルはカラーや素材のイメージをお伝えするもので、実際の色と異なる場合があります。詳しくはお近くのBMW正規ディーラーにお問い合わせください。実物により近い色をご覧いただけるオリジナル・カラー・サンプルをご用意しております。



BMW Individual チタニウム・ブロンズ・エクステリア・ラインでは、チタニウム・ブロンズのアクセントがニューBMW iXにさらなるラグジュアリーの趣を与えます。



スポーツ・パッケージ*と組み合わせた場合には、キドニー・グリルのグラフィックやミラー・ベースを含むサイド・ウインドー・グラフィックの下部、ドア・ハンドル、リヤのバッジといったディテールがチタニウム・ブロンズ仕上げとなります。

* モデルにより装備の設定が異なります。
※ 納車までにお時間をいただく場合があります。BMW Individualの詳細につきましては、BMW正規ディーラーにお問い合わせください。

シャイ・テク

スタイリッシュなミニマリズムと最先端テクノロジーの融合。

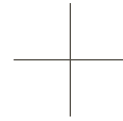


ニューBMW iXには、今日の自動車において最も革新的なテクノロジーが組み合わさっています。同時に便利さとわかりやすさ、そしてシンプルであることを求める、人間のニーズを重視したデザイン哲学に従っています。いったいどのようにすれば、これらのニーズを破綻なく調和させることができるのでしょうか。その答えは、必要な時にのみ機能を表示し、それ以外の時には表示させない先進の『シャイ・テク』にあります。

ハイテクと快適性が相互に作用する、人生を豊かにする空間を創り出すことが、ニューBMW iXのデザイナーにとっての指針となります。トレンドのプティック・ホテルにインスパイアされたこのクルマは、ドライバーと乗員のニーズをしっかりと考慮したうえで、インテリアとエクステリアをデザインしています。また、それらのニーズに応えるため、機能的な要素についてもまったく新たなソリューションを開発し、導入しました。

「室内にぬくもりのあるフレンドリーな雰囲気を生み出そうとするならば、旧来のようなボタンやスイッチ、カバー類は、単に場違いなものではありません」と、BMW iXインテリア・デザイン部門の統括責任者、マティアス・ユンハンスは語ります。「キー・コンセプトは『シャイ・テク』です。これはドライバーや乗員が必要になった時にのみ、特定のテクノロジーを表示し使用できるようにするデザイン・ソリューションのことです」。

たとえば、従来クルマのセンター・コンソールには過剰とも言えるほどのボタンやスイッチがありました。しかしニューBMW iXを見ると、そこには一見、ただ調和の取れた面と魅力的な線があるのみです。『シャイ・テク』とは機能を疎かにすることではなく、美しさと機能をスマートに調和させることを意味します。そのためほとんどの機能はデジタル制御となっていますが、いくつかのミニマルなデザインのボタンとスイッチは残されています。それらはどれも、視覚的にも機能的にも重要な役割を果たすものです。



その最たる例が、調光機能付液晶を組み込んだ、BMW史上最大サイズのスカイ・ラウンジ・パノラマ・ガラス・サンルーフです。ガラスはスイッチひとつで、透明にも不透明にも設定することができます。これはつまり、ルーフ・ライニングが不要となることを意味します。さらにデザインの面でもよりエレガントな印象を与えることができるだけでなく、より広いヘッド・クリアランスを確保することにも繋がります。

カスタマーのニーズを第一に考える姿勢はインテリアだけでなく、BMWのデザイン・アイコンであるキドニー・グリルなどのエクステリアにも取り入れられています。BMW iXエクステリア・デザイン部門の統括責任者、ディルク・ミュラー＝シュトルツが説明します。「ニューBMW iXは完全な電気自動車であるため、キドニー・グリルにラジエーターとしての機能を求める必要はなくなりました。我々はそれを“インテリジェント・サーフェス”として定義し、運転支援テクノロジーのためのセンサーをシームレスに統合することで、BMWのアイデンティティであるクルマの顔を形作っています」。さらに日常的に使用する機能についても、この“顧客第一”の姿勢は貫かれています。ウインドー・ウォッシャー液の充填口が、BMWエンブレムの下に配置されているのもそのためです。ドライバーの利便性を追求しながら、デザイン的にも彫刻作品のような全体のイメージを邪魔しない形にうまく収まっています。



ニューBMW iXのインテリア・デザイン。

快適なキャビン。お気に入りの空間。五感を刺激する場所。
ニューBMW iXは、その革新的なデザイン哲学によって、
絶対的な幸福を具現化するためのインテリアを追求しました。
洗練されたプティック・ホテルから得たインスピレーションをもとに、
ゆとりを感じさせるスペースや随所に息づく細やかな配慮によって、
安らぎに満ちた日常のオアシスを目指したのです。

厳選されたインテリジェントな機能と直観的なテクノロジーを
ハイライトとし、それ以外は明確な主張を持つインテリアに
さり気なく溶け込ませたかつてない空間。
ここではすべてが、あなたとあなたのニーズに
フォーカスされるようデザインされているのです。



「BMW iXは、生活の質をよりいっそう高めるための
移動空間としてデザインされました。
言い換えれば、安らぎと寛ぎに満ちた、
新しい“お気に入りの場所”です」

ドマゴイ・デュケッツ
BMWデザイン部門 統括責任者

ニューBMW iXとスポーツ・パッケージ*がもたらす、 モダンで心地よい空間。

フレームレス・ドアを開けて乗り込んだ瞬間からすぐに、ニューBMW iXはあなたを魅了します。まったく新しい空間感覚によって、刺激と安らぎ、どちらも愉しめる心地よいドライブへと誘うのです。インテリアには大型のスカイ・ラウンジ・パノラマ・ガラス・サンルーフから注がれる陽光と、洗練されたプティック・ホテルにインスパイアされたモダンな感覚が溢れています。

スカイ・ラウンジ・
パノラマ・ガラス・サンルーフ
光、空気、そして空間のビジョン。
スカイ・ラウンジ・パノラマ・ガラス・サンルーフが
陽光で室内を満たすとともに、
インテリアとエクステリアを融合させる
魅力的で親しみやすい雰囲気
醸し出しています。
またBMW初のスマート・ガラスも搭載。
ルーフ・ライニングをスライドさせなくても、
ガラスを不透明にすることができます。

レッグ・ルームにさらなるゆとり。
足元にも広々とした空間。
インストルメント・パネル下の
センター・トンネルを廃したことで、
インテリアにさらなるゆとりが生まれました。
レッグ・ルームが広がり、シート間の移動も
よりスムーズになっています。

ヘッドレスト一体型のシート。
心地よく優雅な世界に身を委ねてください。
ニューBMW iXの極めて快適なシートには
一体型のヘッドレストが備っており、
ブレーク・スルーと名付けられた開口部が
モダンで軽快な印象をもたらしています。
インテリア・デザインLOFT*およびSUITE*では、
このブレーク・スルーはひときわ目を引く
ゴールド・ブロンズ仕上げとなり、
室内に魅惑的なアクセントを添えています。



上質なラウンジを想わせるリヤ。
ワイドなリヤ・シートでは、最大3名の乗員がゆったりと寛ぐことが可能。
センター・トンネルを廃したことにより、完全にフラットなフロアとより広々としたレッグ・ルームが
確保され、より快適なドライブを実現します。
外側のシートにはヘッドレストが一体化され、対角線状の独創的なキルティングが
リヤ全体を包み込むようにドアまで広がっています。
ひとたびその空間に身を置けば、優雅なラウンジの感覚を堪能することができるでしょう。

明快なラインと伸びやかな面構成が特徴的なインテリアでは、
エレガントなコーヒー・テーブルを思わせるフローティング構造のセンター・コンソールや
BMWカーブド・ディスプレイといったハイライトが目目を惹きます。
また、スリムなプロポーションとサステイナブルな素材によってデザイン性と快適性を高めたシートも、
より洗練された空間を演出しています。

さまざまな要素の大胆な削減。
BMWのデザイナーたちのチャレンジは、手放したものの以上に多くのメリットをもたらしました。
センター・トンネルを廃したことで、コックピットに移動の自由が生まれ、
ラウンジさながらのリヤでもさらなるゆとりを実現。
ボタンやスイッチ類を最小限にした操作コンセプトは、安全性や快適性を高めるだけでなく、
新たなデザインのインテリアにも完璧に調和しています。
あなたの新しいお気に入りの場所となる、ニューBMW iXをご体験ください。

ニューBMW iXの cockpit。

心を動かす、未来志向の解釈。デザインとテクノロジーの完璧な融合によって、計り知れないほどに豊かな体験を生み出すニューBMW iXの cockpit。

この空間では音声、ジェスチャー、タッチ・コントロールによる車両との直感的なコミュニケーションも、喜びの源となります。ミニマルに設計された操作系統は車両全体のコンセプトにシームレスに受け込み、考え抜かれた機能と魅惑的なフォルムがすべてのドライビングに新鮮な驚きと喜びをもたらします。

たとえば、フレームレスのBMWカーブド・ディスプレイは、スリムでフラットなインストルメント・パネルの上に浮いているかのように見えます。それはまるで、ギャラリーに展示されたアート作品のよう。ダッシュボードとほぼ一体化して見えるBMWヘッドアップ・ディスプレイとともに、視線を常に前方へと誘導します。ニューBMW iXの走りや機能に関する情報はこれらのディスプレイに見やすく表示され、さらなる進化を遂げたBMW iDriveとインテリジェントなBMWオペレーティング・システム8によって直観的に操作することができます。

この cockpit では、BMW史上初めて採用されたヘキサゴナル・デザインのステアリング・ホイールや、フローティング構造のセンター・コンソールに配置された新しいiDriveパネルなどあらゆるディテールで、視覚的あるいは触覚的なミニマリズムを感じることができます。



BMWカーブド・ディスプレイを採用した最新のユニット。

BMWカーブド・ディスプレイは、広々としたインストルメント・パネルの上にあたかも浮かんでいるような感覚をもたらします。14.9インチのコントロール・ディスプレイと12.3インチのインフォメーション・ディスプレイで構成された一体型ユニットで、人間工学に基づく設計によりドライバーの操作性と視認性を向上。また、音声やジェスチャー、タッチ・コントロールによる直観的な操作も可能とした、次世代のヒューマン・マシン・インターフェイスです。

ヘキサゴナル・デザインのステアリング・ホイール。

未来をその手に。ニューBMW iXでは、BMW史上初めてヘキサゴナル・デザインのステアリング・ホイールを採用しています。モータースポーツにインスパイアされたこのステアリング・ホイールの形状は、乗り込む際やシートでの快適性とともによりBMWカーブド・ディスプレイの視認性にも貢献。新しい時代の始まりを告げる視覚的なハイライトです。

新たに解釈されたセレクター・レバー。

従来のセレクター・レバーに代わり先進的なトグル・スイッチを採用することで、ここでもミニマリズム・デザインのコンセプトを踏襲。すべての重要な機能がセンター・コンソール上に整然と配置されているため、直観的かつ便利に操作することができます。

センター・コンソールの操作パネル。

美しさと快適性を両立するフローティング構造のセンター・コンソール。左右のフロント・シートの間で、優美な家具のような佇まいを見せる操作パネルには、トグル・スイッチ、iDriveコントローラー、ボリューム・コントローラーなどの厳選されたエレメントのみを配置。このセンター・コンソールはインテリア・スタイリング・クリア&ボールドによってひとときエレガントな輝きを放ちます。オープンポア（開気孔）仕上げが目を引き最高級のウォールナット・ウッドと、クリスタル仕上げが煌めくスイッチ類の上を優しく指が滑るような感覚をお愉しみください。



* インテリア・デザインLOFT

クロスとマイクロファイバーを組み合わせた**ストーン・グレー**のシートが、モダンな雰囲気と心地よい質感を両立。これに加え、シートやドア・パネルに施されたコントラスト・ステッチ、室内の随所にあしらわれたゴールド・ブロンズ仕上げのアクセントがプレミアムな室内を演出しています。



* インテリア・デザインSUITE*

インテリア・デザインSUITEでは、シートだけでなくインストルメント・パネル、ドア・パネル、センター・コンソールにも、オリーブの葉の抽出液でなめされた**カスターネア**または**アミド**の最上級レザーが使用されています。操作エレメントなどに施されたエレガントなゴールド・ブロンズのアクセントも、この空間デザインのラグジュアリーな魅力を際立たせています。
* xDrive40の場合は、ラウンジ・パッケージとして設定可能です。

Sustainability in focus

始まりの時から、 終わりと次の始まりを考える。



BMWのインテリア・デザインでは、サステナブルな素材の可能性を重視しています。その日、BMW Groupデザイン・サステナビリティ部門のトップを務めるダニエラ・ポーリンガーは、イタリアの繊維メーカーAquafil（アクアフィル）社のCEO、ジュリオ・ボナツィ氏と、漁網とナイロン廃棄物からリサイクルされた「ECONYL®」が生産されているリュブリャナ工場で面会することになりました。

ジュリオ・ボナツィ氏が会議室の大きなテーブルに広げた漁網は、新品だといわれても疑わないほどとてもきれいなものでした。「漁網は複数の製造工程を経て洗浄し、他のナイロン廃棄物と一緒に化学プラントへ送り、そこで化学成分に分解します」とボナツィ氏は説明します。こうして出来上がったECONYL®は純粋なナイロン顆粒で、その組成は石油ベースの一般的なナイロンとまったく同じです。ECONYL®からつくられた製品は使用寿命を迎えたとまたサイクルに戻され、新製品ののための素材として生まれ変わります。「ECONYL®はこれを何度でも繰り返すことができる、真にサステナブルな原材料なのです」。

BMWでは、BMW i3やBMW iXなどのルーフ・ライニングやフロア・マットのファブリックにECONYL®繊維を採用しています。BMWのデザイン・サステナビリティ部門を担うダニエラ・ポーリンガーによると、これは社内でもその重要性が認められつつある、環境意識に対するもうひとつの答えだと言います。「製品のベースとしてリサイクル素材を使用できることは、BMWにとって非常に重要な意味があります。漁網などのナイロン廃棄物からつくられるECONYL®ナイロンは、BMWの目的に適うきわめて優れた特性を備えています。カラーが豊富で美しく、デザイン的にも使いやすい素材です。リサイクル素材を使用して製造されたものでも外観に問題があってはならず、さらに他にはない魅力的な特性が必須であることはいうまでもありません」。ラグジュアリー・ブランドがリサイクル素材をどこまで受け入れられるかという点についてはまだ限界がある、とジュリオ・ボナツィ氏は話しています。しかし、それも少しずつ変化してきているようです。BMW以外にもPradaやGucciなど、自社コレクションにECONYL®ナイロンを使用する



ラグジュアリー・ブランドが出てきました。このリサイクル素材の生産工程で排出されるCO₂は、原油由来のナイロンと比べて90%削減されます。

廃棄された漁網の一部はダイバーが海洋から回収したのですが、ボナツィ氏はそれこそが、「プロセス全体でもっとも感情に訴えかける部分」とであると語ります。「2013年にAquafil社とパートナー2社が、廃棄された漁網による海洋プラスチック問題の認知を広めるため設立したNGO「The Healthy Seas」の目的は、まさにここにあります」。しかし、Aquafil社がスロベニアでリサイクルする網のほとんどは、世界中の養殖場から出たものです。首都リュブリャナにある15,000平方メートルの倉庫2カ所にそれらを集め、洗浄と分別を行います。ここには古いカーペットや布くず、プラスチックなど他のナイロン廃棄物も集められます。これらがすべて化学プラントで新しいECONYL®ナイロンに再生されるのです。工場でのリサイクル・プロセスは、一般の人々には部分的にしか理解できないでしょう。なぜなら化学的な分離や溶解プロセスの大半は、複雑な構造のボイラーや工場内に張り巡らされた配管システムなどの見えない場所で行われるからです。しかし、初期のプロセスである廃棄物処理に関しては、目で見ることができません。

たとえば、漁網が細かく刻まれ、ベルト・コンベヤーで大きなボイラーに運ばれるといったシーンです。ひとつ上のフロアで行われる次の工程では、銀色の配管からこぼれ出した素材の一部を見ることができますが、その時はすでに白いプラスチック粒子となっています。最後に、リサイクルされた素材はスピナレット・プレートと呼ばれる紡糸セクションで大量の滑らかな糸に生まれ変わり、大きなロールに巻かれます。その後、工場の別エリアで白い糸と、大きな黒、赤、青のロールがカートにのせられます。



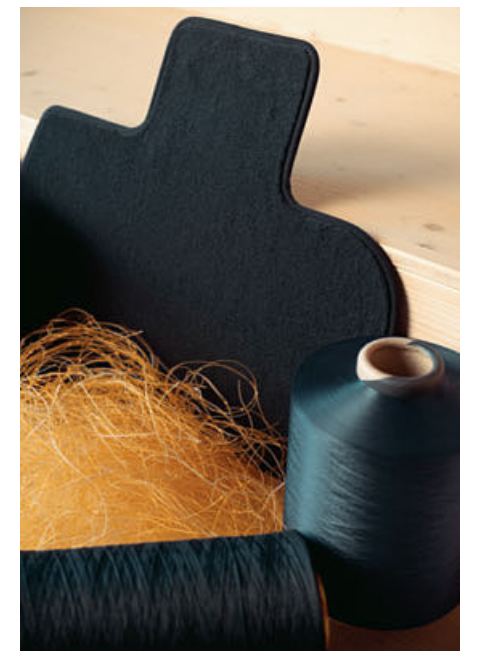
このリサイクル技術のパイオニアであるジュリオ・ボナツィ氏は、廃棄物から純粋なECONYL®ナイロン糸を生産する世界唯一の工場を運営しています。彼の製品は、品質を損なうことなく何度でもリサイクルすることが可能な、いわゆるクローズド・サイクルです。「BMWの自動車工学も基本的にこの方向に進んでいます」とダニエラ・ポーリンガーは言います。「最初から製品サイクル全体を考え、最終的に他の目的でもリサイクルや再利用可能な材料を積極的に使うようになっています」。

ゼロ・エミッションのドライブレインへの投資や材料の有効活用は、パリ協定が掲げる目標の達成にも貢献することでしょう。「弊社のCEOオリバー・ツィプセは、パリ協定の目標達成に自らコミットしています」とポーリンガーは語り、「BMWでは、2030年までにこの野心的な目標を達成するための明確な戦略を進めています」と付け加えています。

ジュリオ・ボナツィ氏は、産業に新たな変化を起こすことの意味について常に考えています。「こうした取り組みがどれほど難しいかを最初から知っていたら、間違いなく手をつけていなかったでしょう」。自身を「クレイジーな男」と認める起業家のボナツィ氏は、笑いながらそう語ります。彼はダニエラ・ポーリンガーに工場内を案内しながら、今のような課題に取り組んでいるかを話してくれました。「養殖場の網をリサイクルする際には、藻類の繁殖を抑えるために施される酸化銅のコーティングを剥がさなければなりません。酸化銅はナイロンとの相性が悪く、

化学処理の工程で多くの問題を引き起こしてしまうのです。そして私たちは数年前にようやく、これらの漁網から酸化銅を除去する技術の開発に成功しました。他には輸送の問題もあります。使用寿命を終えた養殖場の漁網は有害な廃棄物と見なされるため、輸送にはさまざまな条件が課せられるのです」。

汚染物質を排除したいからといって、使用済み素材をリサイクルのために輸入することが許されないというのは理解に苦しむところですが。しかし最終的に、ジュリオ・ボナツィ氏は当局を説得することに成功します。そして現在、彼の工場では酸化銅コーティング付の大量の網が、第2の人生を与えられるのを待っています。次はターコイズ・カラーの水着か、真っ白なデザイナー・チェアか、あるいはBMWのエlegantなブラックのフロア・マットに変わっているかもしれません。



※ ECONYL®はAquafil S.p.A.の登録商標です。

BMWのサステナビリティ： より少ない消費で、より多くを叶える。

BMWにとってサステナビリティとは、走りの中で実現されるものではなく、すでにそのDNAに刻み込まれているものです。原材料の選定から加工処理、自社工場での生産、そしてリサイクルまで。BMWはエコロジカル・フットプリントを可能な限り最小限に抑えるために、絶えずeモビリティの開発を重ねてきました。すべては、未来の世代にも、BMWの駆けぬける喜びを届けていくために。

サプライ・チェーンの管理

サステナビリティは心の中で始まり、大きく広がっていきます。BMWにおけるサステナビリティもまた、すべての事業分野に関わるものであり、単なるCO₂の削減以上の意味を持ちます。原材料の調達から電気駆動モデルの製造、車両のリサイクルに至るまで。**私たちの目標**は、持続可能な自動車産業の未来への道を一步一步進んでいくことに他なりません。



最初の一步から、サステナビリティを。原材料の調達、それがすべての始まりです。サステナブルな生産に極めて重要なプロセスだからこそ、BMWも細心の注意を払っています。そこに関わるすべての人権は守られているだろうか、環境および社会的な基準は守られているだろうか。BMWは、サプライヤーや生産者を慎重に選ぶだけでなく、これらの原材料の調達に携わる人々の労働条件を改善するプロジェクトや活動にも積極的に取り組んでいます。



車両の生産工程

100%再生可能エネルギーで、100%の駆けぬける喜びを。

BMWは、太陽光、風力、そして革新的なテクノロジーといったグリーン電力を利用することで、車両製造時に排出されるガスやCO₂の量を最小限に抑えています。

それは3つの工場から始まり、2020年以降には車両製造に使用する電力のすべてを再生可能エネルギーに切り替えています。

ライプツィヒ工場(ドイツ)



卓越した機動性を誇るニューBMW iXは、この工場のホールで組み立てられます。工場の前には高さ190mの風力発電機が4基設置されており、2020年には年間で25.9ギガワットもの電力を、風力発電によりまかさないました。発電された電力の貯蔵は、2017年よりBMW iの使用済みバッテリー・セル700個を再利用したバッテリー・ファーム(定置型エネルギー貯蔵デバイス)が担っています。

瀋陽工場(中国)



ニューBMW iX3を生産しているこの工場では、BMW GROUP最大規模の太陽光発電システムによって、15メガワットを超える電力が生み出されます。これは、BMW i3で約700万km以上走行できる電力量に相当します。

ディンゴルフィン工場(ドイツ)



欧州で最も大きなBMWのこの工場は、非常にサステナブルな方式で稼働しています。自社のコージェネレーション・プラントでの発電と排熱を利用して、必要なエネルギーの50%をカバー。残りもすべて再生可能エネルギーで賄われています。

バッテリー・セルの マテリアル・サイクル。

電気自動車のバッテリーのライフ・サイクルには、開発、車両での使用、セカンド・ライフ、リサイクルという4つのフェーズがあります。ここでは、BMW GROUPのコンピテンス・センターでのバッテリー・セルの開発からリサイクルまでの流れを追っていきましょう。

未来のバッテリー・セル技術の開発: BMW GROUPは、ミュンヘンにあるバッテリー・セル・コンピテンス・センターで、バッテリー・セルの電極に最適な化学組成の研究を行っています。

リチウムイオン・バッテリー・セルの開発プロセスは、ケーキ作りにたとえることができます。セルの化学組成はレシピ、4つの構成要素である陰極、陽極、セパレーター、電解液が4つの材料にあたります。

バッテリー・セルはバッテリー・モジュールに、さらにバッテリー・モジュールはバッテリーに組み立てられます。こうしてバッテリーのライフ・サイクルにおける最も重要なステージ、車両での使用が始まります。

時が流れ、長年の使用の末に車両に組み込まれたバッテリーが寿命を迎えたとしても、決してそれが終わりではありません。たとえば、ライプツィヒ工場では、BMW i3に搭載されていたバッテリーを定置型エネルギー貯蔵デバイスとして利用しています。こうして新たな役割を得たバッテリー・セルは、そのセカンド・ライフでさらに平均10年は利用されるといわれています。

バッテリー・セルは破砕された後も、その原材料をリサイクルすることができます。BMW GROUPは、バッテリー・セル・コンピテンス・センターにおいて、2次原材料のリサイクルを開発しています。こうしてバッテリー・セルのライフ・サイクルは完了し、また新たな始まりへ向けて備えることになるのです。

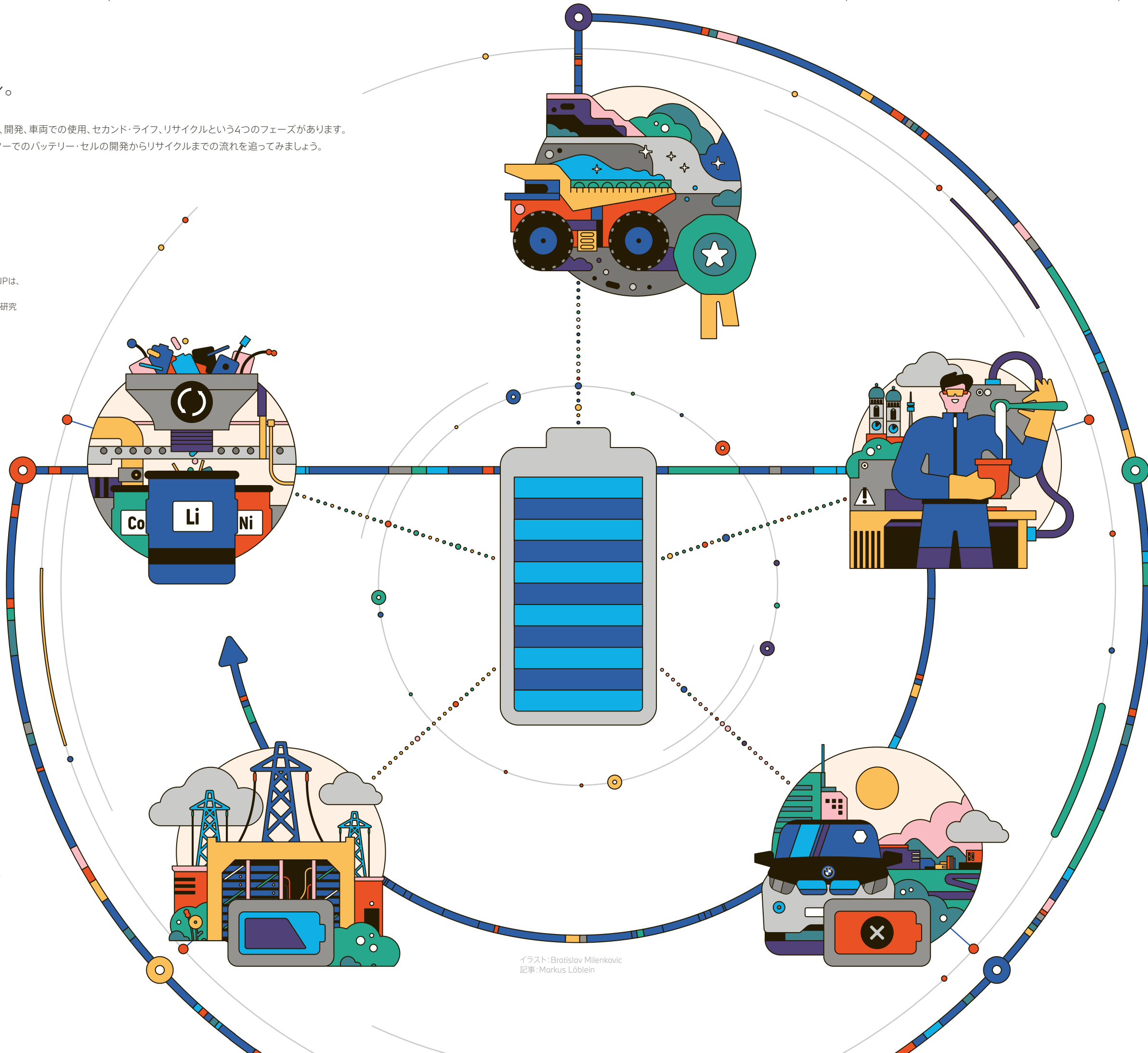


イラスト: Bratislav Milenkovic
記事: Markus Löblein

BMW GROUPの ディンゴルフィン工場へようこそ。

現在、この欧州最大の生産拠点では1日およそ1,300台のBMWが生み出されていますが、同じ敷地内で、車両とはまた別の生産が行われていることはあまり知られていません。実はここでは、最大50万匹ものミツバチが生産活動を行い、生物学的多様性を豊かにしてくれているのです。

晴れた日の朝、ディンゴルフィン工場の北側。自動車が絶えず加速したり、シフト・チェンジをしたり、ブレーキをかけたりするシーンを目にするこの場所は、BMWの最新モデルをチェックする工場専用のテスト・コースです。音に敏感な人なら、ガソリン・モデルかディーゼル・モデルかを聞き分けることができるかもしれません。そして、世界中が注目する完全電気駆動モデル、BMW iXのテスト走行が始まると、走行音に混じって低い羽音のようなものが聞こえます。一方、敷地の東側では、BMWが自ら手掛けたピオトープがあり、とてもどかな風景が広がっています。水生植物、花の咲く低木、そして一体化した石の台地は、トンボやアメンボなどの昆虫が生息するのに最適な環境を作り出しています。

またカエル、イモリ、トカゲやヘビなどさまざまな生物にとっても理想的な生息地となっています。工場内では約1万7,000人の従業員が3シリーズから8シリーズまでの幅広いモデルの組み立てに従事し、工場の外では最大50万匹の働き蜂がせっせと巣を作っているという点でも、とても興味深い場所です。全13種のミツバチの養蜂は、BMWの従業員であり、ディンゴルフィン養蜂協会の運営委員を務める専門家によって行われています。

蜂のコロニー（蜂群）は、生物多様性を支えるためにBMWが行っている数多くの取り組みのひとつにすぎません。数多くの果樹が植えられ、荒れた地は花壇や野草の草原に生まれ変わりました。合計100個の巣箱や人工の昆虫ハウスも用意されました。ディンゴルフィン工場のごこうした取り組みはLandshuter Werkstätten（ランツフーター・ヴェアクシュテッテン）

▶ 養蜂への限らない情熱：
BMW GROUPディンゴルフィン工場において塗装部門の環境責任者を務めるシュテファン・フライシュマンは、敷地内でコロニー（蜂群）を管理しています。

社の提案によるもので、この環境プロジェクトの成功に大きく貢献しています。新しい生息環境の恩恵を受けているのは昆虫や小鳥だけではなく、ハゲタカ、ハヤブサ、タカなどの猛禽類は、羽を休めたり獲物を観察したりする止まり木として、この高さ5 mの構造物を利用しています。これにより、食物連鎖のバランスも保たれているのです。「自然との調和」という基本コンセプトは、敷地内のさまざまな場所で目にするすることができます。いくつかの建物にはグリーン・ルーフ・システムが設置されていますが、そこに花を咲かせる万年草を植え付けると昆虫の住処になるだけではなく、大雨の際に、屋根の基板層で雨を吸収することができます。また、夏と冬には室内の温度調整にもひと役買ってくれます。暑い時は蒸発作用で冷却効果をもたらす、寒い時は断熱効果を発揮して、エネルギー効率に良い影響を与えます。

▶ 13のミツバチのコロニー（蜂群）は、敷地内の生物多様性の保全に貢献するだけでなく、おいしいハチミツまで作ります。

完全電気駆動モデルのニューBMW iXを世に送り出すBMW GROUPのディンゴルフィン工場は、未来のテクノロジーのパイオニアであり、未来志向の職場であるだけでなく、敷地内に生態系に配慮した生息地を作り出しています。このようにしてニーダーバイエルン州の工場は、エネルギー、水、空気の持続可能な使用のみならず、生物多様性の向上にも取り組んでいるのです。もちろん、ミツバチはそんなことなど吹く風といった様子で、今日も明日もただ花から花へと飛び回り「ディンゴルフィンの巣」でのハチミツづくりに夢中です。





www.bmw.co.jp/iX

さらなる情報と、駆けぬける喜びを。 「BMW プロダクト」アプリ

BMWのカタログ閲覧が可能な「BMW プロダクト」を今すぐダウンロード。
いつでも、どこでも、走りの喜びをあなたの手のなかに。

NEW BMW iX xDrive50

最高出力：385kW(523ps)

ホイール：22インチ エアロダイナミック・ホイール1020 バイカラー〔ジェット・ブラック〕3Dポリッシュ(オプション)

ボディ・カラー：BMW Individual アヴェンチュリン・レッド(チタニウム・ブロンズ仕上げ)(オプション)

インテリア：インテリア・デザイン SUITE(レザー・カスタネア)

プロダクトに関するさらに詳しい情報は、こちらをご覧ください：www.bmw.co.jp

BMWに関するお問い合わせは、BMWカスタマー・インタラクション・センターへ。

年中無休 受付時間 9:00am~7:00pm(平日) / 9:00am~6:00pm(土日祝) ☎ 0120-269-437

本カタログに記載のデータおよび写真は、
日本で販売されるモデルとは細部で異なる場合がございます(ヨーロッパ仕様車の写真を含みます)。
また、一部オプション装備を含みます。

使用している写真は、実際の色合いと異なる場合がございます。

本カタログに記載の内容は2022年7月現在のものであり、予告なく変更する場合がございます。
詳細につきましては、お近くのBMW正規ディーラーまでお問い合わせください。

記載のデータおよび写真の著作権は、BMW AG(ドイツ)およびビー・エム・ダブリュー株式会社に帰属します。
無断転載を禁じます。